

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

☆4月2日隅田公園に花見に行きました。☆

## 目次



☆花見の感想	2
☆四月の出来事	3
☆夕会報告	3・4
☆クラブ活動報告	4・5
☆バリアフリーよもやま話（岡本連載） 第82回「接客オリヒメ」	6・7
☆柳さんの料理コーナー	7
☆懐かしの写真アルバム	8
☆メンバーのつぶやき	8・9
☆外でよ延期のお知らせ	10
☆ボランティア募集	10
☆賛助会のお知らせ	11
☆区民祭りで出品するリサイクル品募集	12
☆きょうされん署名協力のお礼	12



2019年 5月号

## 花見（4月2日（火））

4月2日火曜日に花見に行きました。当日はスカイツリーで昼食をとって、その後で隅田川周辺を5班に分かれて散策しました。桜の時期に間に合って、とても良い花見日和でした。



### 桜

東京スカイツリーにみんなさんと一緒に行ってきました。僕は初めてゴンドラに乗りました。迫力あってとても怖かったです。

フードコートにみんなと一緒に入りました。

僕は白いラーメンを食べました。美味しかったです。

みんなさんと一緒に桜を見ました。とても桜が満開できれいでした。楽しかったです。

島田龍司



## 平成最後の花見

隅田川周辺に桜を観に行ってきました。情報だと満開と聞いていたのですが、見た感じでは、八～九分咲きといったところでした。しかも体感的にやや寒く感じました。5班に分かれての行動・散策となり、私たちの班は、長命寺の桜餅を購入し、隅田川にかかっている桜橋＝通称エックス橋を渡り本龍院待乳山聖天にある小型のケーブルカーに乗って隅田川を一望して、公園で長命寺の桜餅を食べて帰路に着きました。



三木直人

## 4月の出来事

4月1日は新しいメンバーとして島田さんが来所しました。

4月2日は隅田川周辺に花見に行きました。

4月23日は長年にわたって風の子会の保健師として働いてくださった岸田さんが退職されました。そして、新しい保健師として沼口さんが入りました。また運転パートの職員さんも入りました。

4月27日はクラブ活動を行ないました。

4月30日と5月1日はゴールデンウィーク中ですが風の子は通常通り開所しました。



岸田さんおつかれさまでした！

小野塚航



## 四月の夕会報告

### 四月六日【花見の感想・外に出よう】

四月二日（火）に、隅田公園に行き花見をしてきたその感想を聞いた。その日にさくら祭が行われ、芸者さんを見かけ、一緒に写真を撮った班がいた。その中で反省として「集合時間より遅れてきた班がいた」という意見が出た。次回の外出行事で、連絡を取り合うようになった。そして、五月二十五日（土）に行われる「外に出よう」で参加をしてくれている、赤坂ロータリークラブより今回から、外に出ようを不参加との連絡があったと所長の岡本さんより報告があった。外に出ようを今後どうするか？の話し合いをした。

### 四月十三日【区民祭り・下見・送別会】

みなと区民祭りが、十月六日（土）・七日（日）に行われる。今年も風の子会は参加することが決定した。そして、六月十一日（火）に行く本所防災センターの下見をした方が良いとのことで、メンバーの小野塚さん・島田さん・職員の木村さん・平沼さんの四名で下見に行くことになった。さらに保健師の岸田さんが、四月二十五日（火）に、保健師の岸田さんが退職をするため、送別会を行うことになり、花束や色紙などを渡すメンバーを決め、廣瀬さん・松本さん・柳川さんの三名になった。

## 四月の夕会報告

### 四月二十日【区民祭りのテントの使い方・行事】

みなと区民祭が、十月六日（土）・七日（日）に行われる。そこで、みんなの広場と福祉部会で、テントの使い方について話し合いをした。その結果、みんなの広場は古本と工房商品を販売することになり、企画横（福祉部会）では、パラリンピック種目の「ポッチャ」体験コーナーをすることになった。そのルールを調べてくれるのは、島田さん・廣瀬さんになった。次に、行事について話し合いをした。皆、やりたいことを上げてもらった「潮干狩り」や「バーベキュー」などの意見が出た。

田中 聡



## クラブ活動報告 4月27日(土)

料理部です。今回はシュークリームを作りました。

初めて料理部に入りました。

本格的にシュークリームを風の子会の皆さんと一緒に作りました。凄くシュークリームを作るのが難しかったです。

それでも風の子会の皆さんと一緒に作ったシュークリームがとても楽しかったです。

他にも料理を作りたいです。ホントに料理が楽しかったです。また一緒に風の子会の皆さんと料理をしたいです。



鍋でクリームを風の子会の皆さんと一緒に混ぜました。頑張りました。楽しかったです。

島田龍司

## ぶらり部です

旗の台の釣り堀店に行ってきました。

今回は旗の台の釣り堀で2回目の釣り対決をやった。メンバーは松本先輩と斉藤さんが参加した。ボランティアさんの青木さんが手伝ってくれた。水に釣りさおを入れ待った。そして、魚釣れた。松本先輩1匹。斉藤さん1匹。私4匹釣りあげた。

銭湯に犬がいた。番台に座ってた。



柳川 敬事



## 麻雀部です

マージャンをやり始めの頃は、ルールなどまったくわからないでやっていたら、みんなが親切に教えてくれて、ビリはまぬがれゲームを楽しくおこないました。マージャンを教えてくれて一緒にやってくれる人を募集しています。

掛橋 竜也



## 麻雀牌募集しています！

風の子会では、今マージャンが流行しています。しかしマージャン牌が不足しています。もし自宅にマージャン牌があり、使わない方はぜひ風の子会にお譲り下さい。

## ❀❀❀ **バリアフリーよもやま話** ❀❀❀

### 第82回 「接客オリヒメ」 風の子会ボランティア・運営委員 岡本 明

3年程前、バリアフリーよもやま話第55回で、「分身ロボットで旅行」という話を書きました。旅行に行けない重度の肢体不自由の人などが、行きたいところに分身ロボット「OriHime（オリヒメ）」を持って行ってもらって、自宅から遠隔操作して周囲を見渡したり、現地の人と話をしたりして、旅行を疑似体験できる、というものです。これは旅行だけでなく、海外赴任先から日本の友人の結婚式に参加する、通学できない児童が友だちと一緒に授業を受ける、通勤が困難な人がテレワーク（在宅勤務）をするなどの応用が広がっています。実際、NTT東日本はオリヒメを導入して、介護や育児などで通勤が困難な社員を中心にテレワーク勤務を行なっています。

「OriHime」を開発した（株）オリイ研究所では昨年、新しいモデルとして「OriHime-D」を開発しました。これは、身長120cmで、14のモーターが入っていて、前進後退、旋回ができます。ペットボトルを手をまっすぐ伸ばして持つことができ、簡単なものをつかんだり、運ぶこともできます。また、スピーカーで操作者の声を伝え、会話ができるようになっています。そこで、家やベッドから離れられない人がOriHime-Dを遠隔操作してお客と対応する、という応用が考えられているのです。このように物を運ぶという作業もするのは珍しいものです。

昨年、ALS患者の方が自宅でOriHime-Dを操作し、部屋の中を動き回ってコーヒーを手渡すという実験に成功し、さらに11月、12月には日本財団のビル内のカフェでの実験が行われました。カフェ内で3台のOriHime-Dが、来店客を出迎え、客のところへ行って会話を交わし、コーヒーとオレンジジュースの2種類から選んで注文してもらい、注文品ができたら運んでいく、というものです（写真は毎日新聞平成31年1月22日朝刊より）。カフェの床にはガイドラインとセンサーが配置されていて、OriHime-Dが互いの位置を知ってぶつからないようになっています。

OriHime-Dを操作する人はパイロットと呼ばれます。この実験ではパイロットとしてALSや頸椎損傷などの障害のある人15名が「雇用」され、時給1,000円が支給されました。東京、埼玉、愛知、岐阜、三重、島根と広い範囲からの参加があったということです。

7ページへ続く

## 6 ページからの続き

パイロットとして参加した人からは「病気になってからはいつも人に『ありがとう』と言って過ごしてきたけど、カフェでは逆に『ありがとう』といってもらえてうれしかった。」「コミュニケーションがあるので、社会と関わっている実感がある」「体を動かす仕事など考えたことが無く、できないと排除していたが、目からうろこだった」などの感想があったそうです。

このように「分身」を使った障害のある人の仕事は、新しい「雇用」を作り出すものとして大いに期待されるのですが、技術的なこと以外にも課題が多いようです。今回の実験では時給 1,000 円が支払われましたが、これは給与として受け取ることができないのです。重度訪問介護などのサービスを利用している間は「経済活動」は認められないからです。また重度の人は、安定して週 20 時間以上勤務という障害者雇用率算定の基準を満たすことが難しい場合もあり、企業も雇用しにくいということもあります。「国が障害のある人の労働に関する制度を変えることが必要」という指摘があります（毎日新聞より）。まだまだ課題はあるとしても、一つずつ、じっくり解決していったほしいと思います。



## {柳さんのクッキングコーナー。}

野菜オムレツ。ボウルに卵を5個割って入れます。コショウとしおをして、はしでかきまぜます。野菜のポテトのかわをむきレンジで3分温めます。タマネギとベーコンとピーマンを大きめに切って、フライパンに油をひき卵を流し入れます。材料を卵の上に乗せかき混ぜます。3分ふたをして蒸し焼きにします。皿にもり野菜オムレツの出来上がりです。ケチャップをして召し上がれ。タルタルソースにも合います。

②、カツオのたたき丼、カツオの刺身を切って、ご飯の上にのせます。たまねぎはかわをむきうすめに切ります。ワカメは湯を通しタマネギと一緒にします。それらもご飯の上にのせます。ポン酢をかけて出来上がりです。

柳川 敬事

## 懐かしの写真アルバム



今回の写真は2010年、それは風の子の職員体制が大きく様変わりした年。そんな年に新しく迎え入れたのがこの“スマイルキャブ”。スマイルも今年で10年目なんですね。

連絡先：懐かしのアルバムコーナー担当：秋葉 博



## メンバーのつぶやき

### 松ちゃんのちょっと一言

文書 - C:\Users\DENUSER\Documents\DenNoSin\文書\新規文書20190507112007.rtf\*

ものまね芸人を  
 歌を聞いた  
 なつかし

名曲  
 寺尾聡  
 ルビーの指環  
 いくづ今は  
 教えて欲しい

句	あ	か	さ	た	な	は
漢	い	き	し	ち	に	て
削	う	く	す	つ	ぬ	え
改	え	け	せ	て	ね	へ
◀	お	こ	そ	と	の	ほ
戻	盤	移	編	削	時	頁
↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

スイッチ入力でスキャンを開始します

## わたるのひとりごと

平成元年、それは僕が高校3年生で、翌年に卒業し、大学受験に失敗し、地獄の浪人時代に突入した、そんな頃だ。大学に行けるのだろうかという不安や焦りにかられながら、2年かかってようやく何とか合格した。大学ではゼミで様々なことを学び、寮生活で様々な夜遊びを覚えた。僕にとっての平成前半の10



0年間は大学生活そのものである。青春がぎっしりと凝縮された10年間であり、僕自身がもっとも輝いていた10年間だった。その後紆余曲折を経て平成15年、僕は風の子に辿り着く。そこは未知の世界だった。普段はのんびり和気あいあいと過ごしているだけなのに、次から次にと行事がやってくる。外に出よう、歌と踊りの集い、一泊旅行、区民祭り・・・どれもこれも初めてのことで感動の連続だった。

同時に不快なことも経験した。罵倒や諍いなどで嫌な思いをしたことも何度かあった。良いこと悪いこと全部ひっくるめて、人と人との関わり方を学べたような気がする。平成後半の15年間、僕にとってそれは風の子だった。大学生活と風の子通いに彩られた平成が終わり、新しい元号の令和が始まる。僕にとって令和はどんな時代になるのだろうか。

小野塚 航



## 令和の目標

五月一日（水）より『令和』という元号に変わります。平成が終わってしまうのは、寂しい気持ちになってしまいます。僕の平成の思い出は、城南で中学・高校時代を過ごし、卒業後は放送大学に入り障害者福祉を学び、風の子会に入会をして、約二十年目の時を迎えようとしています。これからの僕の希望は『令和』に向けて、若くて・奇麗で・美しい彼女と一緒に暮らしたいなあと思っています。

田中 聡

## 『外に出よう』延期

5月25日（土）に開催を予定していましたが「外に出よう」ですが、ボランティアの呼びかけに時間が足りないこと、そして準備不足の為に、外に出ようを延期させていただきます。参加を予定して下さっていた方には大変申し訳ございません。

外に出ようの日程が決まり次第、また会報にて皆様にお知らせいたします。

外に出よう実行委員  
小野田・小野塚・田中・岡本



## ボランティア募集

① 昼食の介助・トイレの介助 （11時30分～4時00分）

② 作業の手伝い・作業の工夫の相談

等々

行事の予定は以下の通りです。お手伝いいただける方は、  
TEL03-6809-4001 風の子会までご連絡下さい！！

●今後の行事予定

### 6月11日（火） 本所防災センター見学（墨田区）

内容：本庄防災館にて防災体験ツアーに参加します。防災体験ツアーの内容は  
シ

アターを見た後に地震体験・煙体験・暴風雨体験をグループに分かれて体験します。時間は、ツアー時間は約1時間50分ぐらいです。車いすでも参加できるので、車いすを押してくれる方を募集しています。

皆さんの空いた時間で良いので

ご協力をよろしくお願いま～す！！！！

## 「風の子会」新年度賛助会ご加入のお願い

日頃、風の子会の活動にご理解、ご支援を頂きありがとうございます。

私たちが、芝浦運河を見下ろす新実習所に移転してはや1年半になります。

明るく、広々とした空間を得て、みんなで話し合いやすくなり、にぎやかに、思い思いに、様々な実習や作業を展開できるようになりました。

「重い肢体障害者だからこそ送迎と介護による通所を保障する」という発足以来40数年の伝統と、様々な支援機器を利用してパソコンを活用する機関紙編集や試行錯誤の手漉き和紙づくりなどの20数年間の蓄積、そして、「みんなで話し合っ決めて運営する」精神は、全国でも稀有な風の子会の特色です。私たちはその特色を誇りとして、これからもたゆみなく活動を続けていきたいと願っています。

そのため、広く皆様に、賛助会加入によるご支援をお願いする次第です。

2019年5月

港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階  
特定非営利活動法人 風の子会  
会長 田中 あけみ

更新・ご加入いただけます方は、同封の振込用紙をご利用ください。

（当会の銀行口座へのお振込をご希望の方はお手数ですがご連絡ください。）

賛助会会員の方には風の子会の機関誌「風の子便り」をお送りし、会の活動をご報告いたします。

なお、当会は東京都から認定NPOの認定を受けています。認定NPO団体に対する寄付は税法上の軽減が受けられます。賛助会費はその寄付に該当します。

2019年中の賛助会費及び当会へのご寄付については、

2019年1月1日現在のご住所が

港区民の方 所得税、住民税（都民税、区民税）が軽減されます。

都民の方 所得税、住民税（都民税）が軽減されます。

他県の方 所得税が軽減されます。

※ 住民税（都民税）と住民税（区民税）の軽減はそれぞれ「ふるさと納税」と言われるものです。

※ 税の軽減の計算については、お手数ですが、税務署及びお住まいの区市町村税務担当にお尋ねください。

※ 稚拙ですが、当会への寄付金と税の軽減に関する説明記事を風の子会ホームページに掲載しております。

## 区民祭りで販売するリサイクル品大募集！！

風の子会は今年も区民祭りに参加します。そこで、販売するためのリサイクル品を募集したいと思います。今年は夕会での話し合いの結果、**古本**を販売しようということになりました。風の子会のみんなで精一杯販売しますので、よろしくをお願いします。



- 今回は古本のみの募集となります。
- 古本は、文庫本に限ります。コミックや大判の本はご遠慮下さい。
- 著しい汚れや破損がある場合は、引き取ることはできませんので、ご了承ください。
- 港区在住の方はこちらから取りに伺います。（時間は応相談）
- 港区外の方は、献品を送ってください。  
※送料は申し訳ございませんが、自己負担でお願い致します。

送り先：特定非営利活動法人風の子会

〒108-0022 東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

詳しいことを確認したい方はお電話下さい。

風の子会の電話番号は03-6809-4001

担当：平沼 実華



### きょうされん署名ありがとうございます。

平成31年1月号よりきょうされん署名のご協力をお願いしていましたが、4月末を持って締め切りました。集まった署名数は、おかげさまで44筆になりました。

皆様からいただいた署名は責任を持って、きょうされん本部に郵送させていただきます。ご協力ありがとうございました。

岡本 裕介

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

企画編集メンバー

太田 圭子	幸 高史
太田 稔	和栗頭太郎
小野塚 航	柳川 敬事
田中 聡	三木 直人
塚田 愛基	松本 恵司
信高 正義	島田 竜司

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型

〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：[kazenoko@kazenokokai.or.jp](mailto:kazenoko@kazenokokai.or.jp)

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧6-26-21